2026年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月13日

上 場 会 社 名	ムトー精工株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7927	URL	https://www.muto.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	田中　肇
問合せ先責任者	（役職名） 取締役財務担当	（氏名）	金子　貞夫　(TEL) 058(371)1100
半期報告書提出予定日	2025年11月13日	配当支払開始予定日	2025年12月16日

決算補足説明資料作成の有無　：無
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2025年４月１日～2025年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年３月期中間期	14,841	4.4	1,299	14.3	1,525	21.2	1,082	25.3
2025年３月期中間期	14,216	5.9	1,137	5.9	1,258	△13.7	863	△19.9

（注）包括利益　2026年３月期中間期　1,179百万円（ 148.2%）　2025年３月期中間期　475百万円（△78.9%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年３月期中間期	155.17	―
2025年３月期中間期	121.85	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年３月期中間期	32,762	19,842	57.5
2025年３月期	31,027	19,309	59.2

（参考）自己資本　2026年３月期中間期　18,839百万円　2025年３月期　18,374百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年３月期	―	20.00	―	74.50	94.50
2026年３月期	―	30.00			
2026年３月期(予想)			―	71.00	101.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有

３．2026年３月期の連結業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	△2.1	2,400	17.2	2,400	△7.0	1,750	15.8	250.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　―　社（社名）　　、除外　―　社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（注）詳細は、添付資料９ページ「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年３月期中間期	7,739,548株	2025年３月期	7,739,548株
②　期末自己株式数	2026年３月期中間期	793,487株	2025年３月期	711,155株
③　期中平均株式数（中間期）	2026年３月期中間期	6,973,211株	2025年３月期中間期	7,086,093株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（セグメント情報） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における国内外の経済は、日本においては雇用環境の改善や訪日観光客の増加による消費の回復が見られるなど、経済活動の活性化が進んでおります。一方、米国の関税政策が及ぼす影響や物価高の継続など、企業活動、国民生活に大きな懸念材料があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く業界におきましては、家電分野では、デジタルカメラカテゴリーにおいて付加価値の高いミラーレスカメラの需要が好調で、当社ではタイでデジタルカメラ部品の受注が増加を続けております。自動車関連部品では、米国の関税政策の動向により先行きに不透明感があるものの、得意先からの受注は回復傾向にあります。プリンター部品におきましては、得意先からの受注が堅調に推移しております。電子ペン部品では、ペーパーレス化の導入拡大などを背景に、一定の受注を維持しております。医療機器関連では、高齢化社会を背景とした医療ニーズの高まりに伴い、得意先から安定的に受注を獲得しております。

その結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高は148億４千１百万円と前年同期と比べ６億２千４百万円(4.4%)の増収、省人化・省力化を図り、固定費をはじめとした経費削減に努めたことにより、営業利益は12億９千９百万円と前年同期と比べ１億６千２百万円(14.3%)の増益、円安の進行に伴い為替差益が１億２千１百万円増加したことなどにより、経常利益は15億２千５百万円と前年同期と比べ２億６千７百万円(21.2%)の増益、親会社株主に帰属する中間純利益は10億８千２百万円と前年同期と比べ２億１千８百万円(25.3%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度において精密プレス部品事業に分類しておりましたタチバナ精機株式会社の全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、当第１四半期連結会計期間より精密プレス部品事業を当社グループの報告セグメントから除外しております。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、主にデジタルカメラ部品や自動車関連部品、金型における受注増加に伴い、プラスチック成形事業全体の売上高は増加いたしました。また、省人化・省力化を図り経費削減に努めたことにより、増益となりました。その結果、当中間連結会計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて144億６千６百万円と前年同期と比べ９億３千１百万円(6.9%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は11億８百万円と前年同期と比べ６千２百万円(6.0%)の増益となりました。

② プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門では、セラミック基板の得意先からの受注減少に伴い、減収となりました。一方、検査部門におきましては、自動車向けの各種センサーなどのセラミック基板の検査が好調で、大幅な増収となりました。その結果、当中間連結会計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて３億７千８百万円と前年同期と比べ１億３千７百万円(56.9%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は１億９千１百万円と前年同期と比べ９千５百万円(99.3%)の増益となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ17億１百万円増加し、216億１千１百万円となりました。現金及び預金が４億４千１百万円、受取手形及び売掛金が９億６千６百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ３千３百万円増加し、111億５千万円となりました。投資有価証券が８千４百万円、その他(投資その他の資産)が４千４百万円それぞれ増加し、有形固定資産が１億４百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ17億３千５百万円増加し、327億６千２百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ15億６千３百万円増加し、96億３千６百万円となりました。支払手形及び買掛金が８億７千６百万円、短期借入金が４億６千１百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ３億６千１百万円減少し、32億８千３百万円となりました。長期借入金が２億１千４百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ12億２百万円増加し、129億２千万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ５億３千２百万円増加し、198億４千２百万円となりました。利益剰余金が５億５千８百万円増加したことなどが主な要因です。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、92億９百万円となり、前年同期と比べ18億８百万円(24.4%)増加いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前中間純利益15億２千４百万円、非資金費用である減価償却費６億４千６百万円、仕入債務の増加額９億４千７百万円及び売上債権の増加額10億５千７百万円などにより、営業活動全体として16億３千７百万円の収入となり、前年同期と比べ収入が６億４千２百万円(64.5%)の増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、定期預金の預入による支出15億８千３百万円、有形固定資産の取得による支出５億５千９百万円及び定期預金の払戻による収入20億４千６百万円などにより、投資活動全体として１億７百万円の支出となり、前年同期と比べ支出が７億１千８百万円(87.0%)の減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、長期借入金の返済による支出５億４百万円、配当金の支払額５億２千５百万円及び短期借入金の純増額４億５千万円などにより、財務活動全体として５億４千３百万円の支出となり、前年同期と比べ支出が２億９千７百万円(35.4%)の減少となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における業績の進捗状況等を勘案し、2025年５月13日に公表いたしました2026年３月期の連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日(2025年11月13日)公表の「2026年３月期通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

当期の見通しにつきましては、国内外で景気の回復が維持されることが期待されるものの、米国の関税政策動向による世界経済の減速、物価高の維持による消費意欲の減少など景気の下振れも懸念され、不確実性の高い経営環境が続くことが見込まれます。また、今後の為替相場の動向は、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

このような状況の中、当社グループは、柔軟な生産体制を構築し事業環境の変化に備えると同時に、顧客各社の動向を注視し着実な受注活動を行い、世界情勢による様々なリスクに対応していく所存であります。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当中間連結会計期間 (2025年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,367,739	10,809,697
受取手形及び売掛金	4,742,480	5,708,700
電子記録債権	450,734	546,665
商品及び製品	824,731	892,723
仕掛品	1,182,021	1,245,599
原材料及び貯蔵品	1,712,002	1,850,245
未収入金	94,863	98,658
その他	536,239	460,377
貸倒引当金	△645	△965
流動資産合計	19,910,168	21,611,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,614,798	4,526,320
機械装置及び運搬具（純額）	2,665,253	2,678,253
土地	2,055,887	2,071,849
リース資産（純額）	275,928	274,310
建設仮勘定	100,244	124,813
その他（純額）	581,043	512,937
有形固定資産合計	10,293,155	10,188,484
無形固定資産	236,810	232,291
投資その他の資産		
投資有価証券	303,414	387,678
繰延税金資産	107,671	121,652
その他	175,952	220,594
貸倒引当金	△125	△125
投資その他の資産合計	586,914	729,800
固定資産合計	11,116,881	11,150,577
資産合計	31,027,049	32,762,279

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当中間連結会計期間 (2025年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,842,258	2,719,242
電子記録債務	267,539	369,417
短期借入金	3,370,000	3,831,000
1年内返済予定の長期借入金	966,620	976,616
未払法人税等	244,920	358,319
賞与引当金	257,450	304,296
関係会社整理損失引当金	－	125,937
その他	1,124,425	952,155
流動負債合計	8,073,214	9,636,985
固定負債		
長期借入金	2,316,694	2,101,700
長期未払金	156,004	120,185
繰延税金負債	359,321	413,803
役員退職慰労引当金	26,628	28,278
退職給付に係る負債	358,872	363,382
関係会社整理損失引当金	152,315	－
その他	274,293	255,722
固定負債合計	3,644,129	3,283,071
負債合計	11,717,344	12,920,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,253,246	2,255,557
利益剰余金	11,905,044	12,463,454
自己株式	△592,470	△718,606
株主資本合計	15,754,780	16,189,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	169,668	246,082
為替換算調整勘定	2,450,212	2,404,011
その他の包括利益累計額合計	2,619,880	2,650,093
非支配株主持分	935,044	1,002,763
純資産合計	19,309,704	19,842,222
負債純資産合計	31,027,049	32,762,279

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年４月１日 至 2024年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）
売上高	14,216,791	14,841,295
売上原価	11,296,628	11,738,343
売上総利益	2,920,162	3,102,951
販売費及び一般管理費	1,782,321	1,802,964
営業利益	1,137,841	1,299,987
営業外収益		
受取利息	79,419	80,560
受取配当金	4,274	6,402
為替差益	36,964	158,025
助成金収入	3,557	3,981
その他	12,408	11,235
営業外収益合計	136,624	260,204
営業外費用		
支払利息	15,568	32,731
その他	494	1,990
営業外費用合計	16,063	34,721
経常利益	1,258,402	1,525,470
特別利益		
固定資産売却益	4,341	1,788
特別利益合計	4,341	1,788
特別損失		
固定資産売却損	4,070	2,891
固定資産除却損	1,793	0
関係会社整理損失引当金繰入額	5,968	－
特別損失合計	11,832	2,891
税金等調整前中間純利益	1,250,911	1,524,367
法人税等	324,072	388,783
中間純利益	926,838	1,135,583
非支配株主に帰属する中間純利益	63,364	53,558
親会社株主に帰属する中間純利益	863,473	1,082,025

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年４月１日 至 2024年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）
中間純利益	926,838	1,135,583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,192	76,414
為替換算調整勘定	△415,248	△32,009
その他の包括利益合計	△451,441	44,404
中間包括利益	475,396	1,179,988
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	431,221	1,112,238
非支配株主に係る中間包括利益	44,175	67,749

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年４月１日 至 2024年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,250,911	1,524,367
減価償却費	655,884	646,978
有形固定資産除却損	1,793	0
貸倒引当金戻入額	△200	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△154	320
賞与引当金の増減額（△は減少）	74,260	47,614
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△5,703	1,650
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△33,331	8,704
受取利息及び受取配当金	△83,693	△86,962
支払利息	15,568	32,731
有形固定資産売却損益（△は益）	△271	1,103
売上債権の増減額（△は増加）	△872,621	△1,057,552
棚卸資産の増減額（△は増加）	△168,154	△280,374
仕入債務の増減額（△は減少）	608,203	947,651
未払金の増減額（△は減少）	△268,866	△236,705
未払費用の増減額（△は減少）	19,459	77,469
未払消費税等の増減額（△は減少）	△109,120	107,056
関係会社整理損失引当金の増減額（△は減少）	5,968	△25,241
その他	79,693	162,733
小計	1,169,624	1,871,543
利息及び配当金の受取額	83,705	86,882
利息の支払額	△16,133	△33,592
法人税等の支払額	△252,386	△290,216
法人税等の還付額	10,984	3,277
営業活動によるキャッシュ・フロー	995,795	1,637,894
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△572,072	△1,583,459
定期預金の払戻による収入	965,332	2,046,077
有形固定資産の取得による支出	△1,195,054	△559,263
有形固定資産の売却による収入	8,887	6,316
無形固定資産の取得による支出	△51,523	△12,595
その他	18,370	△4,697
投資活動によるキャッシュ・フロー	△826,059	△107,623
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	100,000	450,000
長期借入れによる収入	500,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△612,670	△504,998
自己株式の取得による支出	△83,494	△129,940
配当金の支払額	△625,911	△525,368
非支配株主への配当金の支払額	△108,450	△121,500
その他	△10,336	△11,260
財務活動によるキャッシュ・フロー	△840,863	△543,067
現金及び現金同等物に係る換算差額	△262,922	△62,629
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△934,050	924,574
現金及び現金同等物の期首残高	8,334,651	8,284,938
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,400,601	9,209,512

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（セグメント情報）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2024年４月１日　至　2024年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	中間連結損益計算書計上額
	プラスチック成形事業	精密プレス部品事業	プリント基板事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,528,120	447,296	241,374	14,216,791	－	14,216,791
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,958	51,318	－	58,277	△58,277	－
計	13,535,079	498,615	241,374	14,275,068	△58,277	14,216,791
セグメント利益又は損失(△)	1,046,184	△4,441	96,098	1,137,841	－	1,137,841

（注）セグメント利益又は損失(△)の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	中間連結損益計算書計上額
	プラスチック成形事業	プリント基板事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,462,610	378,685	14,841,295	－	14,841,295
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,093	－	4,093	△4,093	－
計	14,466,703	378,685	14,845,388	△4,093	14,841,295
セグメント利益	1,108,481	191,505	1,299,987	－	1,299,987

（注）セグメント利益の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において「精密プレス部品事業」に分類しておりましたタチバナ精機株式会社の全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、当第１四半期連結会計期間より「精密プレス部品事業」を当社グループの報告セグメントから除外しております。